

※ 海外ニュース ※

マレーシア 2020年02月01日 New Straits Times

■ 全マレーシアのドライバー、今日から料金引き下げを享受

Motorists nationwide begin enjoying toll rate discounts today

今日（2月1日）から、マレーシアの高速道路では料金が18%引き下げられた。リム・ガンエン財務大臣は、この料金引き下げは、国民全体のためになる福祉と経済発展のプログラムに繋がるであろうとともに、「2月1日からの料金引き下げによって、政府はパカタン・ハラパン（希望連盟）のマニフェストで約束したとおり、高速道路コンセッション契約の再交渉によって段階的に料金を廃止していく」という公約の達成に向けて重要なステップを踏み出しました」と述べた。

ドイツ 2020年02月04日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ 経済相、水素トラックに9億ユーロ支援

Altmaier will Wasserstoff-Lkw mit 900 Millionen Euro fördern

連邦経済省は「国家水素戦略」の草案を作成し、CO₂排出を伴わない水素はエネルギー転換において「中心的な役割」を担うものであるとした。水素の製造と使用の枠組みや条件を改善し、必要な供給構造を作り上げ、研究とイノベーションを押し進めることを目指す。重点が置かれるのは、交通分野での水素利用である。草案には31の対策が記され、資金援助も含まれる。2023年までに乗用車の購入補助に21億ユーロ、商用車に9億ユーロ、バスに6億ユーロを投入することが計画されている。

ドイツ 2020年02月12日 Zeit オンライン版

■ フォルクスワーゲンとE.on、可動式の充電スタンドを計画

VW und E.on planen mobile Ladesäule

フォルクスワーゲンと電気供給事業者E.onは、電気自動車用の可動式充電スタンドを開発した。高性能の充電池を用いているため、同時に2台の充電が可能で、必要ならどこでも設置可能である。VWによれば、充電は25分ほどで完了する。急ぐ場合には10分ほどの充電で、電力消費の少ない運転であれば150km走行できる電力を蓄えることができる。

ブルガリア 2020年02月13日 The Sofia Globe

■ ブルガリアで計画中の新たな大型車課金システムの詳細

Details of Bulgaria's planned new toll system for heavy vehicles

衛星方式を採用したブルガリアでは、2020年3月1日から、国内の有料区間（自動車専用道路803km、一般道路2,312km）を走行する、総重量が3.5トンを超える車両は、走行距離に応じた料金の支払いが課されることになる。対象となる車両は、車載器、もしくは登録済みのGPS機器を搭載していなければならないが、少額利用者については、インターネット、携帯電話、専用窓口で事前に登録・支払いが行える“route pass”というサービスが利用可能である。これらについては、2月13日に外務省ホームページにも掲載された。

中国 2020年02月15日 中華人民共和国交通運輸部

■ 新型コロナウイルス対策中の高速道路料金無料化の交通運輸大臣通知

交通运输部关于新冠肺炎疫情防控期间免收收费公路车辆通行费的通知

国務院の同意に基づき、新型コロナウイルス対策の間、2020年2月17日午前0時から別途通知するまでの

間、国内すべての有料の高速道路、橋、トンネルの料金を免除することを決定した。無料化に伴う作業や安全対策など具体的な作業については、州の交通当局が関係機関と協力して行うこととする。

フランス 2020年02月18日 LeFigaro オンライン版

■ エファージュ、ドイツ高速道路プロジェクトで15億ユーロの契約を獲得

Eiffage remporte un contrat autoroutier de 1,5 milliard d'euros en Allemagne

2月17日、フランスの大手建設会社エファージュは、ドイツのヨハン・ブンテ建設グループと共に、バイエルン州（ドイツ）の高速道路に関する重要な事業を受注したと発表した。

同社によると、工事は2020年5月より開始、2025年11月完了予定で、プロジェクトの総額は約15億ユーロとのこと。「これはドイツで署名された高速道路事業のPPP契約としては史上最高額だ」としている。事業内容は、バイエルン北部のビーベルリート～フルト～エアランゲンを結ぶアウトバーンA3号線76kmの4車線から6車線へ拡幅である。

ドイツ 2020年02月19日 Spiegel オンライン版

■ フランクフルトで光線による排出ガス測定の試験

Pilotversuch: Frankfurt misst Auto-Abgase mit Lichtstrahlen

本日よりフランクフルトで、排ガス測定の新システムの試験が行われる。交通量の多いフリードベルガー州道に装置を設置し、走行中の車両の排ガスを光線で測定する。

Heat社のリモートセンシング検出器は、通過する車両の排ガスに上から垂直に光線を当て、車道に反射させそのスペクトrogramによって、排ガスの有害物質濃度が測定するものである。

アメリカ 2020年02月20日 AP News

■ コネチカット州知事、道路課金法案を取り下げ

Connecticut governor drops proposal for highway tolls

水曜日（2/19）に、ネッド・ラモントコネチカット州知事は議会の動きが鈍いことに対する不満を述べるとともに、トラックに対する道路課金法案を取り下げた。同知事と同じ民主党が多数派である州下院では、課金の対象をもっと広くした案を検討しており、火曜日には採決する予定であった。しかし、同知事によれば、上院からもっと時間がかかるとの話があったとのことである。2030交通改善計画が総額190億ドルであるのに対し、トラックへの課金による収入は年間2億ドル程度と予測されており、同知事はその分については借り入れで賄うことを検討している。

ドイツ 2020年02月21日 Spiegel オンライン版

■ Tesla、電動トラックの販売に向け、日祝日の大型トラック走行禁止の緩和を求める

Tesla versucht Sonntagsfahrverbot für Elektro-Lkw zu kippen

アメリカの自動車製造会社Teslaは、まもなく電動トラック「Semi」の販売を開始する。運送業者による購入を促すため、Teslaはドイツでの大型トラック走行禁止の対象から外れることを目指しているようだ。すでに連邦交通省との最初の話し合いが行われたという。

ドイツは、休日だけでも国民が騒音や排ガスを避けられるように、1956年に大型トラック走行禁止を導入している。7.5トンを超えるトラックやトレーラー牽引車が、わずかな例外を除いて、日祝日の0～22時に商用走行することを禁止している。

アメリカ 2020年02月29日 Marin Independent Journal

■ ロードジッパーがゴールデンゲートブリッジで活躍して5年

Golden Gate Bridge median barrier 'saving lives' after 5 years

ゴールデンゲートブリッジでの車線運用の変更にロードジッパーが導入されて5年が経過したが、かつて問題となった正面衝突事故にストップをかけた。1970～2015年に同橋では、128件の正面衝突事故が発生し、16人が死亡しており、事故率は平均2件／年であったが、ロードジッパーが導入されてからは1件もない。導入前は、ボーリングのピンより少し背の高い黄色のポールにより北行きと南行きを分離し、作業員が手作業で25フィート（約7.5m）ごとにポールを移動させていた。ロードジッパー導入後は、黄色の「ジッパートラック」が、高さ32インチ（約80cm）、幅1フィート（約30cm）のコンクリートと鉄でできた移動式の防護柵を、通勤パターンに応じて1日3回移動させている。

ドイツ（オーストリア） 2020年03月01日 Zeit オンライン版

■ 高速道路での制限速度 140 km/h のテストが終了

Test mit Tempolimit 140 auf Autobahnen beendet

テストが行われたオーストリアの2区間（計120km）では、速度制限が通常の130km/hに戻されている。

一方、ドイツでは2月中旬に連邦議会がアウトバーンでの130km/h速度制限を否決している。連邦環境庁の試算によると、130km/hの制限を設ければCO₂を年間190万トン抑えることができるという。

ドイツ 2020年03月11日 VerkehrsRundschau オンライン版

■ 日祝日の大型トラック走行禁止を全州で取りやめ

Sonntagsfahrverbot soll deutschlandweit aufgehoben werden

新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、物資の安定供給を確保するため、ここ数日で複数の州が日祝日の大型トラック走行禁止を緩和している。

連邦議会の日報によると、少なくとも4月末まで全州で大型トラックの走行禁止が取りやめとなる。すでに連邦交通省が16州の州交通省や交通関連団体と電話会議を行い、同意を取りつけているという。今回の措置が取られるのは、新型コロナ問題のために、ドイツの一部の地域で食料品店やドラッグストアの品不足が生じていることが原因となっている。

アメリカ 2020年03月12日 KHOU-TV

■ ハリス郡の有料道路、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、現金での支払いを受け付けず

Harris County toll roads no longer accepting cash due to coronavirus pandemic

テキサス州ハリス郡の有料道路では、道路利用者と従業員の新型コロナウイルスの感染の機会を減らすため、「有料道路での物理的接触となる現金の取り扱いや両替」を廃止した。

「現金払いのお客さまはそのまま通過し、後日、インターネットでお支払いいただきます。インターネットをお使いにならないお客様には、車両の所有者さま宛に請求書を郵送いたします」